

1. 広域条件調査

1.1 町の成り立ち・沿革

(1) 沿革・位置

現在の益城町は、町村合併促進法に基づき、昭和29(1954)年4月に5町村(木山町、広安村、飯野村、福田村、津森村)が合併し誕生した。熊本県の中央北寄りに位置し、西は熊本市、南西は嘉島町、南は御船町、東は阿蘇郡西原村、北は菊池郡菊陽町に隣接する。(図1.1-1参照)

近年は、熊本市のベッドタウンとしての機能性から人口増加が続き、純農村地域から、次第に住宅都市としての性格をもつようになった。熊本の空の玄関口である「阿蘇くまもと空港」、陸の玄関口である「九州自動車道益城・熊本空港I・C」などの交通拠点を有し、その地理的な優位性を生かし、様々な企業進出や流通拠点が形成されつつある。



図1.1-1 益城町位置図

(2) 地形・面積

益城町の東部から南部にかけては、九州山地系に属する城山をはじめ、朝来山、船野山、飯田山の四峯が連なっている。北部一帯は、約2,000haにも及ぶ益城台地と称される畑地がひらけ、中央平坦部は、水田約1,000haが整然と整備され、穀倉熊本平野の一環を形成するとともに、都市近郊型の住宅地帯が広がっている。町域を流れる主な川は木山川、赤井川、秋津川、金山川などで、河川はすべて緑川流域加勢川水系に属し有明海へ注いでいる。

町の総面積は6,568haで、長さ東西約11km、南北約13km、周囲約48kmとなっている。

1.2 人口動向・人口構成

(1) 人口動向

近年、益城町の人口、世帯数、人口密度はすべて微増傾向で推移しており、男性よりも女性が多い傾向にある。(表1.2-1、図1.2-1参照)

(2) 人口構成

益城町の年齢別(3区分)人口構成は、生産年齢人口(15歳~64歳)の割合が約58%と最も大きく、熊本県(57.6%)と同程度の割合である。また、年少人口の割合は熊本県(13.7%)や熊本市(14.2%)よりも大きく、高齢人口の割合は熊本県(28.8%)よりも小さくなっている。(表1.2-2、図1.2-2参照)

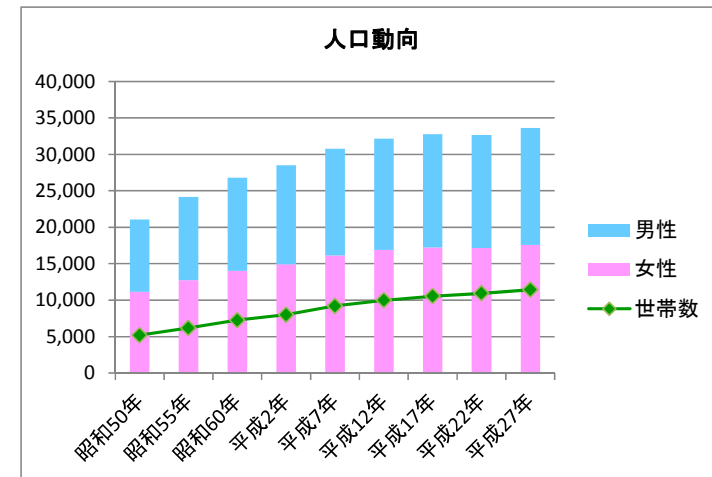


図1.2-1 人口動向

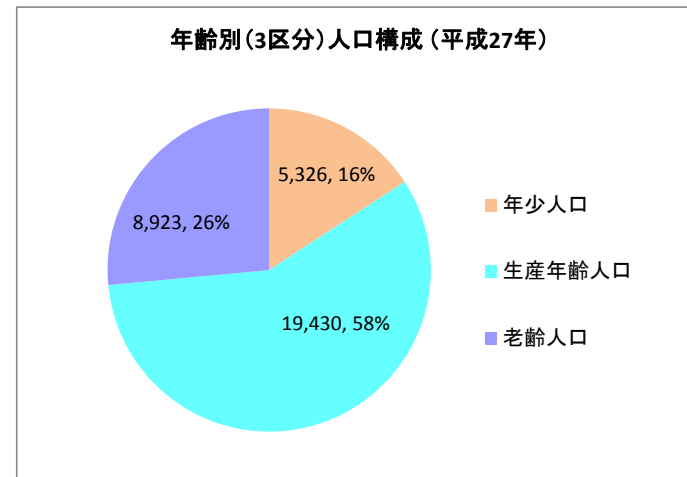


図1.2-2 年齢別(3区分)人口構成

表1.2-1 人口の推移 (単位:世帯・人)

年	世帯数	人口			人口密度 (1km ² 当たり)	1世帯 人員
		総数	男性	女性		
※ 昭和50年	5,195	21,046	9,905	11,141	320.4	4.10
※ 昭和55年	6,184	24,175	11,435	12,740	368.4	3.80
※ 昭和60年	7,254	26,773	12,749	14,024	407.9	3.70
※ 平成2年	8,002	28,493	13,587	14,906	433.9	3.60
※ 平成7年	9,210	30,758	14,636	16,122	468.4	3.40
平成10年	9,689	31,713	15,119	16,594	483.1	3.30
平成11年	9,917	32,103	15,298	16,805	488.9	3.20
※ 平成12年	9,973	32,160	15,263	16,897	489.7	3.20
平成13年	10,139	32,259	15,333	16,926	491.2	3.20
平成14年	10,299	32,389	15,367	17,022	493.2	3.10
平成15年	10,477	32,600	15,453	17,147	496.4	3.10
平成16年	10,965	32,757	15,510	17,247	498.8	3.00
※ 平成17年	10,549	32,782	15,565	17,217	499.2	3.10
平成18年	10,715	32,823	15,605	17,218	499.8	3.10
平成19年	10,895	32,852	15,611	17,241	500.3	3.00
平成20年	11,124	32,964	15,694	17,270	501.9	2.96
平成21年	11,277	33,070	15,703	17,367	503.5	2.93
※ 平成22年	10,935	32,676	15,531	17,145	498.0	2.99
平成23年	11,146	32,874	15,612	17,262	500.5	2.95
平成24年	11,309	32,987	15,685	17,302	502.3	2.91
平成25年	11,490	33,099	15,784	17,315	504.0	2.88
平成26年	11,706	33,386	15,954	17,432	508.4	2.85
※ 平成27年	11,438	33,632	16,061	17,571	512.1	2.94

(資料: ※印は、国勢調査。それ以外は、10月1日現在の推計人口による。)

出典: 益城町HP(H26・H27データのみ熊本県HP)

表1.2-2 年齢別(3区分)人口構成(平成27年) (単位:人)

区分	年齢	総数	構成比	男性	女性	熊本県の構成比	熊本市の構成比
年少人口	0~14歳	5,326	15.8%	2,772	2,554	13.7%	14.2%
生産年齢人口	15~64歳	19,430	57.7%	9,443	9,987	57.6%	61.7%
高齢人口	65歳以上	8,923	26.5%	3,868	5,055	28.8%	24.1%

出典: 熊本県HP

1.3 産業動向・就業動向

(1) 産業動向

1) 産業別人口動向

益城町において、平成22年の就業者数は平成17年比で減少している。

第3次産業に従事する就業者が最も多く、全就業者に占める割合も微増傾向にある。一方で、第1次産業、第2次産業に従事する就業者は減少傾向にある。また、第3次産業の中でも、サービス業の就業者数が約34%と最も多く、次いで卸売業・小売業が多くなっている。(表1.3-1、図1.3-1、図1.3-2参照)

2) 産業別工業出荷額

近年、益城町の工業出荷額は減少傾向にあり、産業別にみても概ね減少傾向にある。一方で、電気機械器具は増加傾向にある。一般機械器具の出荷額が最も大きくなっているが、近年は大きく減少傾向にある。(表1.3-2、図1.3-3参照)

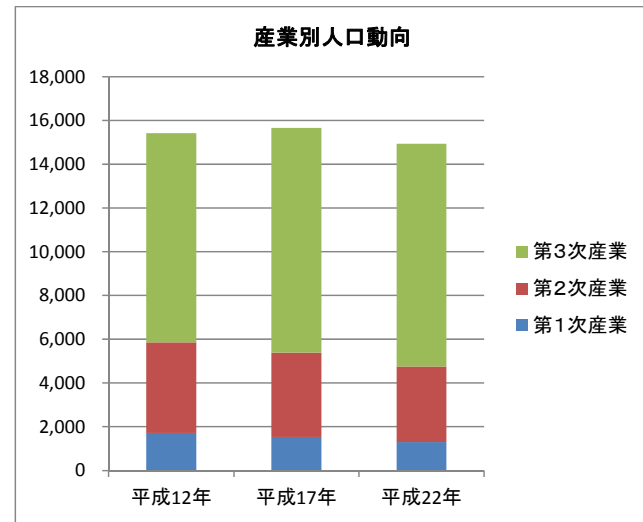


図1.3-1 産業別人口動向

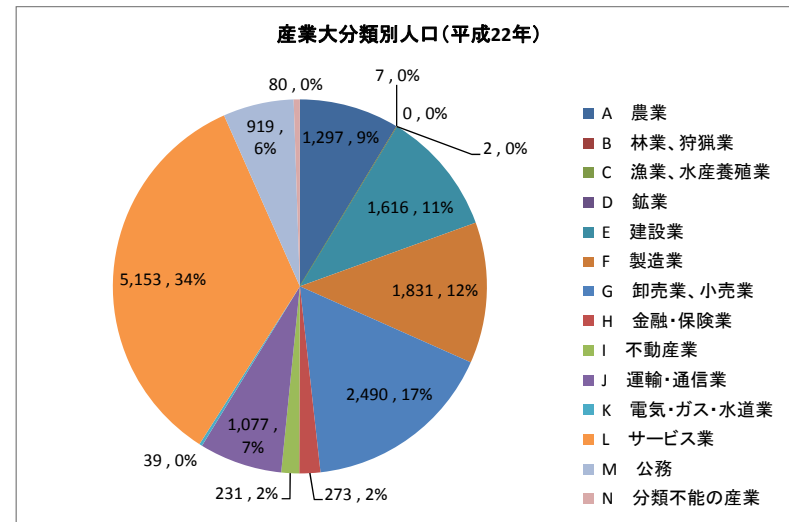


図1.3-2 産業別人口構成

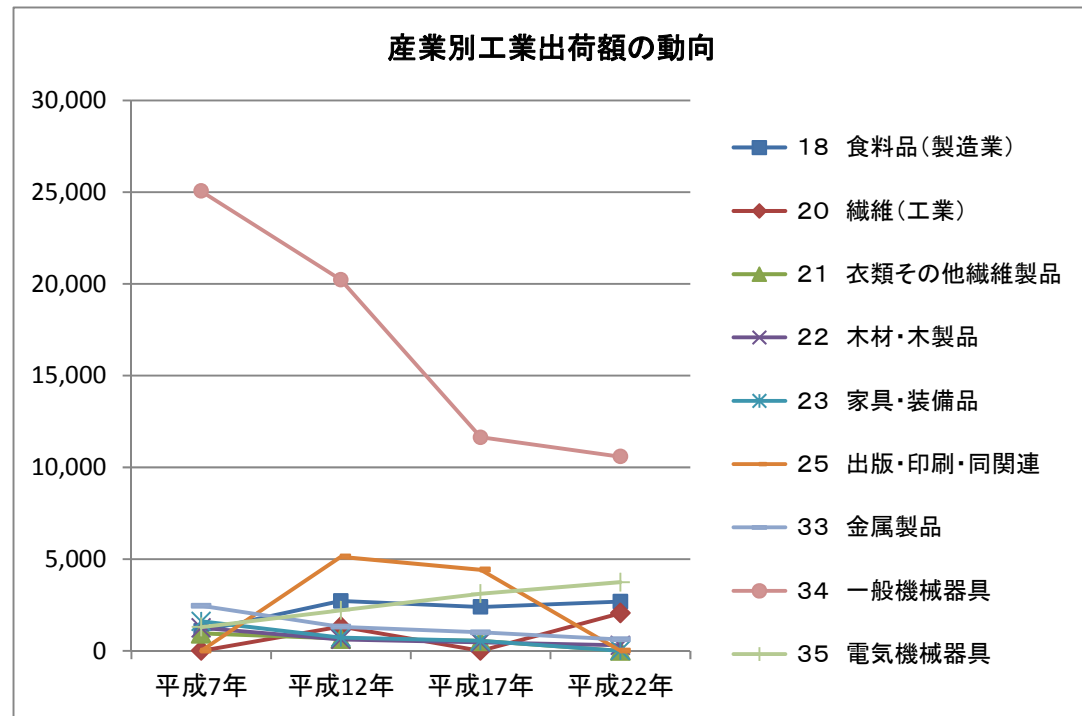


図1.3-3 産業別工業出荷額の動向

表1.3-1 産業大分類別人口の推移

産業大分類	平成12年		平成17年		平成22年	
	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)
A 農業	1,706	11.1	1,538	9.8	1,297	8.6
B 林業、狩猟業	11	0.1	3	0.0	7	0.0
C 漁業、水産養殖業	1	0.0	0	0.0	-	-
第1次産業	1,718	11.1	1,541	9.8	1,304	8.7
D 鉱業	4	0.0	1	0.0	2	0.0
E 建設業	2,070	13.4	1,905	12.1	1,616	10.8
F 製造業	2,062	13.4	1,943	12.4	1,831	12.2
第2次産業	4,136	26.8	3,849	24.5	3,449	23.0
G 卸売業、小売業	2,933	19.0	3,175	20.2	2,490	16.6
H 金融・保険業	357	2.3	295	1.9	273	1.8
I 不動産業	88	0.6	164	1.0	231	1.5
J 運輸・通信業	976	6.3	1,105	7.0	1,077	7.2
K 電気・ガス・水道業	41	0.3	39	0.2	39	0.3
L サービス業	4,204	27.2	4,501	28.6	5,153	34.3
M 公務	962	6.2	994	6.3	919	6.1
第3次産業	9,561	61.9	10,273	65.3	10,182	67.8
N 分類不能の産業	30	0.2	60	0.4	80	0.5
合計	15,445	100.0	15,723	100.0	15,015	100.0

※「-」: データなし
出典: 益城町提供資料

表1.3-2 産業中分類別工業出荷額の推移

(単位: 百万円)

産業中分類	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
18 食料品(製造業)	1,079	2,714	2,382	2,675
20 繊維(工業)	×	1,313	×	2,048
21 衣類その他繊維製品	941	656	536	×
22 木材・木製品	1,239	618	450	287
23 家具・装備品	1,599	723	538	×
25 出版・印刷・同関連	×	5,125	4,416	×
33 金属製品	2,448	1,308	995	620
34 一般機械器具	25,051	20,223	11,628	10,577
35 電気機械器具	1,283	2,194	3,104	3,733
合計	33,640	34,874	24,049	19,940

※「26 化学」「28 ゴム製品」「30 窯業・土石製品」「31 鉄鋼」については、すべての年で「データなし」または「非公開」
※「×」: 非公開
出典: 益城町提供資料

3) 産業別商品販売額

益城町の商品販売額は全体的に増大している。産業別にみると、卸売業の販売額が最も大きく、平成19年は平成14年比で3倍以上になっている。飲食料品小売業、自動車・自転車小売業の販売額も増大傾向にある。一方で、繊維・衣類、身の回り品小売業、家具・建具・じゅう器の販売額は、低下している。(表1.3-3、図1.3-4参照)

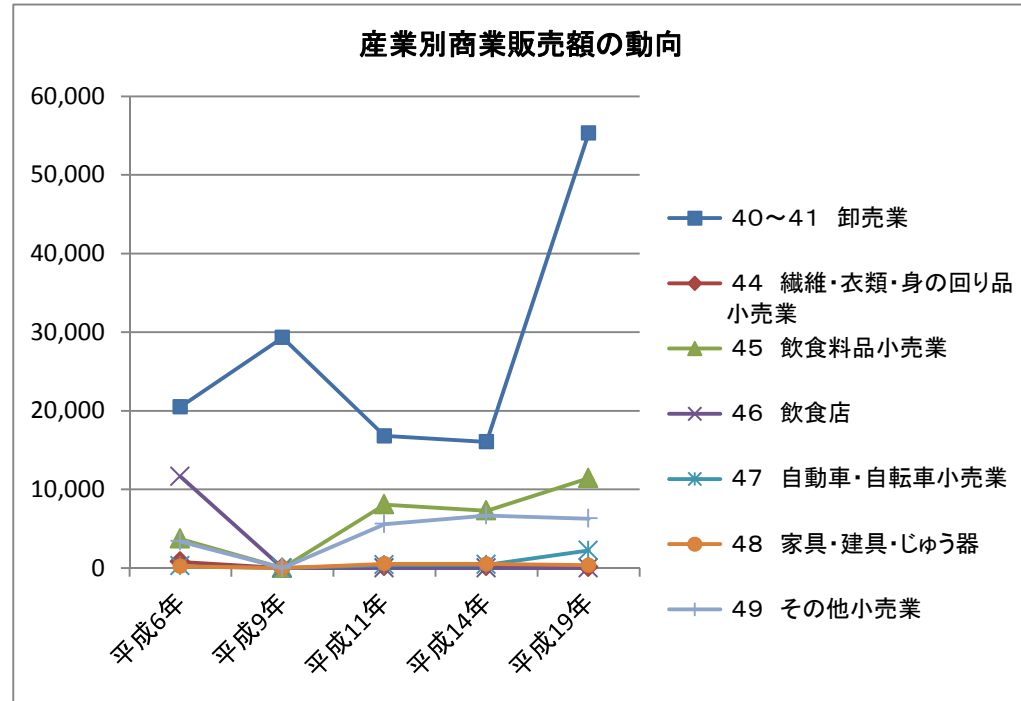


図1.3-4 産業別商品販売額の動向

表1.3-3 産業中分類別商業販売額の推移

(単位：百万円)

産業中分類	平成6年	平成9年	平成11年	平成14年	平成19年
40~41 卸売業	20,499	29,321	16,798	16,038	55,315
44 繊維・衣類・身の回り品小売業	786	×	225	236	115
45 飲食料品小売業	3,707	×	8,071	7,304	11,436
46 飲食店	11,629	—	—	—	—
47 自動車・自転車小売業	252	×	384	426	2,230
48 家具・建具・じゅう器	209	×	550	512	352
49 その他小売業	3,393	×	5,586	6,678	6,284
小売業小計	19,976	15,091	14,816	15,156	20,417
合計	20,499		16,798	16,038	55,315

※「43 各種商品小売業」については、すべての年で「データなし」または「非公開」

※「×」:非公開、「—」:データなし

出典：益城町提供資料

(2) 就業動向

近年、益城町における就業者の流出人口、流入人口はともに増加傾向にあり、流出先、流入先ともにほとんどが熊本市となっている。また、熊本市に次ぐ流出先・流入先については、それぞれ御船町、菊陽町となっており、近隣の市町への流出・流入が多いことがわかる。(表1.3-4、図1.3-5参照)

表1.3-4 就業者の流出・流入人口

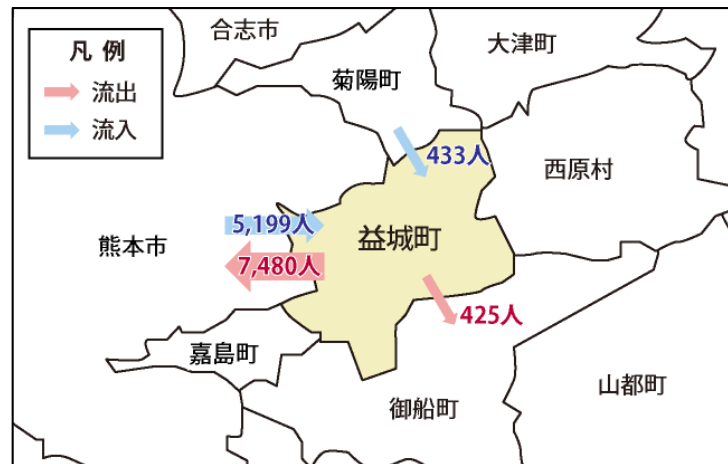


図1.3-5 就業者の流出・流入人口

	常住地による 就業者数 (人)	流出		従業地による 就業者数 (人)	流入		従/常 就業者 比率 (%)	流出先						流入先					
		就業者数 (人)	流出率 (%)		流出率第1位			流出率第2位		流入率第1位		流入率第2位							
					市町名	流出者数 (人)		流出率 (%)	市町名	流出者数 (人)	流出率 (%)	市町名	流入者数 (人)	流入率 (%)	市町名	流入者数 (人)	流入率 (%)		
平成7年	14,825	7,742	52.2%	12,208	5,125	42.0%	82.0%	熊本市	5,948	40.1%	西原村	263	1.8%	熊本市	3,418	28.0%	御船町	230	1.9%
平成12年	15,445	8,305	53.8%	13,164	6,024	45.8%	85.2%	〃	6,250	40.5%	〃	335	2.2%	〃	3,807	28.9%	大津町	258	2.0%
平成17年	15,723	9,049	57.6%	13,864	7,191	51.9%	88.2%	〃	6,464	41.1%	大津町	349	2.2%	〃	4,475	32.2%	菊陽町	346	2.0%
平成22年	16,577	10,362	62.5%	14,255	7,910	55.5%	86.0%	〃	7,480	45.1%	御船町	425	2.6%	熊本市	5,199	36.5%	〃	433	3.0%

出典：益城町提供資料

(3) 観光

1) 観光資源 (出典: 益城町商工会 HP)

① 四賢婦人記念館 (蘇峰生誕の家記念館)



熊本が産んだ偉大なジャーナリスト、徳富蘇峰が生まれた家を復元した記念館。もともとは母矢嶋久子の家であり、蘇峰は当時の風習で母方の実家で生まれました。館内では、蘇峰ゆかりの品や、名家矢嶋家の資料を展示している。

② 津森神社



津森神社の社木である銀杏の木に生息している「夜泣貝」は、赤ちゃんの夜泣きにご利益があるといわれている。一般には神社といえば鳥居であるが、津森神社には珍しく楼門も立っている。

③ 潮井水源



豊富な湧水で知られ地域の人の大切な水源である。付近は緑豊かな森林が広がり、誰でも立ち寄ることのできるよう、公園として整備されている。一角には鯉が泳ぎ、またシーズンには蛍も飛び交っており、訪れる人の目を楽しませてくれる。

④ 飯田山常楽寺山門



平安末期に建立されたと伝えられる天台宗の寺院。山門の石段は「乱れ積法」という珍しい積み方で一見の価値がある。飯田山の林道から頂上に向かう道の途中にある。

⑤ 阿蘇くまもと空港



熊本の空の玄関口は、この町の高遊原台地にある。昭和 46 年に開港した熊本空港は雄大な阿蘇を舞台に、今では多くの便の飛行機が就航している。霧や雨に強いカテゴリー(進入限界高度 15 km)も導入され、悪天候による欠航も減少し、さらなる機能性アップが期待されている。

⑥ 東海大学宇宙情報センター



空港に隣接する人工衛星情報の受信基地である。気象や海洋観測情報のステーションでそのデータの収集・分析を行っている。

⑦ テクノ中央緑地 (テクノリサーチパーク内)



テクノリサーチパーク内の中央に位置し、噴水があると同時にベンチが設備され、くつろげる空間となっている。

2) 行事・イベント (出典: 益城町観光パンフレット「人集う、未来息づく、夢タウン 益城町」)

① 益城町みんなの夏祭り (8月開催)

開催テーマは「身近で見られる花火大会」。造り物やミニコンサート、2,500 発の花火が打ち上げられる。

② 木山初市 (3月開催)

益城町の郷土料理「市だご」をはじめ、特産品などの露天販売が行われる。

③ 阿蘇くまもと空港・テクノ周辺ジョギングフェア (5月開催)

「新緑のテクノ公園で、テクテク走ろう!」をキャッチフレーズに開催。3km と 5km のコースがある。

④ きままにスポーツ健康フェスタ (10月開催)

体育の日に伴う総合イベント。スポーツ、健康増進、福祉環境、バザーなど各種コーナーを開設。

⑤ 益城ふるさと市場はびまる (毎月第3日曜日開催)

益城町保健福祉センター「はびねす」駐車場で開催する物産販売会。新鮮野菜、惣菜、工芸品などが並ぶ。

⑥ ましきメッセもやい市 (毎週日曜日開催)

グランメッセ熊本駐車場において開催される朝市。(売り切れ次第終了)

⑦ 砥川の獅子舞 (10月開催)

砥川阿蘇神社で行われ、五穀豊穡祈願、無病息災のために獅子舞を奉納する。

3) 特産物 (出典: 益城町商工会 HP)

① 梨・ぶどう



太陽の光をあびて、甘く実った梨は、幸水・豊水・新高など種類が多い。又8月上旬から9月末頃までぶどう狩りが楽しめる。

② スイカ・メロン



夏の王様であるスイカは、おいしさいっぱいである。益城町自慢のおいしいメロンは、味よし、形よし、香りよし甘い香りがただよってくる。

③ かんしょ



津森地区のさつまいもは一味違う。

④ 太秋柿



露地柿の場合は、条紋があるほど美味しい柿となる。シンデレラ太秋は露地柿より一味も二味も違い、条紋がなくても とても美味しく日持ちが大変良く見た目も奇麗である。安心して贈り物に最適である。

⑤ 倭ばんしょう



磨かれた伝承の製法と、厳選された素材が織りなす味の極み「倭ばんしょう」。阿蘇高原の旬の野菜と天然の調味料から引き出される芳香な香り、そして深い味わいは、まさに漬物の芸術品ともいえる。

1.4 インフラの整備状況

表1.4-1 主要都市施設の状況

区分	道路						鉄道					
	高速道路		幹線道路(12m以上)		12m未満の国道等		JR旅客線		貨物線		私鉄など	
	路線数	延長(km)	路線数	延長(km)	路線数	延長(km)	路線数	延長(km)	路線数	延長(km)	路線数	延長(km)
既存	1	5.3	2	18.20	5	21.8	—	—	—	—	—	—
計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	自動車ターミナル				空港		港湾		河川		供給処理施設	
	トラックターミナル		バスターミナル		箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)	河川数	延長(km)	ガス供給施設	
	箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)							箇所数	供給人口
既存	—	—	—	—	—	—	—	—	8	79.6	—	—
計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	供給処理施設											
	発電所		浄水場		下水終末処理場		ゴミ焼却場		し尿処理場		ごみ埋立地	
	箇所数	供給人口	箇所数	供給人口	箇所数	面積(m ²)	箇所数	処理能力(t/日)	箇所数	処理能力(kl/日)	箇所数	処分可能年
既存	—	—	5	31,109	1	26.42	1	40	—	—	—	—
計画	—	—	—	—	1	26.42	1	40	—	—	—	—

区分	公園緑地		レクリエーション施設	教育施設			文化施設			官公庁	国公立病院	中央卸売市場	流通業務団地
	箇所数	面積(ha)		高等学校	小中学校	公共図書館	美術館等	市民会館					
	箇所数	面積(ha)	箇所数	箇所数	箇所数	箇所数	箇所数						
既存	4	5.80	8	—	8	—	—	1	1	—	—	1	
計画	4	15.58	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

出典: 益城町提供資料(庁内資料)

(1) 道路

益城町は、幅員4m以上12m未満の道路が多く、全体の約76%を占める。一方で、幅員12m以上の道路、4m未満の道路はそれぞれ全体の10%程度である。(表1.4-2参照)

(2) 下水道

益城町における下水道処理区域の整備率について、汚水管は約85%であるが、雨水管については約25%にとどまっている。また、下水管渠の整備率について、汚水管は90%を上回っているものの、雨水管は40%に満たないような状況である。また、特別環境保全公共下水道の整備率は、30%程度にとどまっている。(表1.4-3参照)

(3) 上水道

近年、益城町の給水人口は微増傾向にあり、上水道普及率は95%を上回っている。また、日平均給水量および1人当たり平均給水量は、それぞれ8,000m³前後、250ℓ前後で推移している。(表1.4-3、図1.4-4参照)

また、益城町の水道水源は100%地下水である。

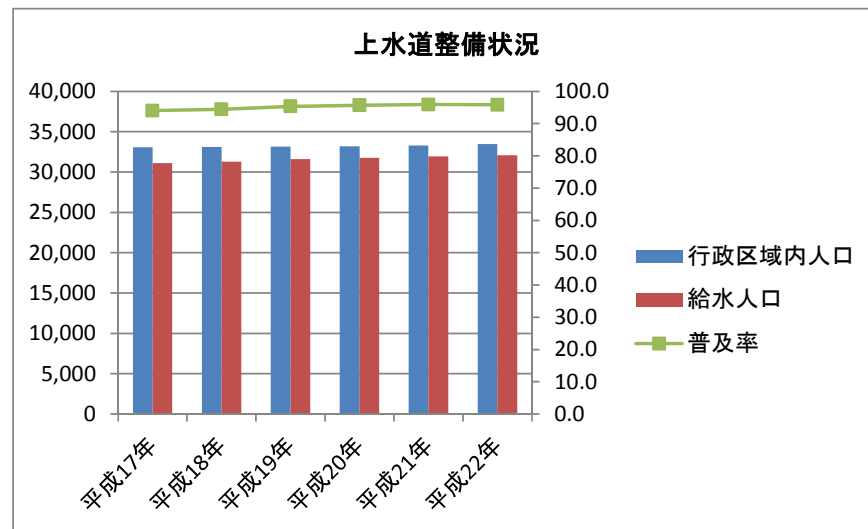


図1.4-1 上水道整備状況

表1.4-2 道路整備状況

区分	幅員12m以上 (km)	4m以上12m未満 (km)	4m未満 (km)	合計 (km)	摘要	
						国 道
主要地方道・県道	13.50	25.61	—	39.11		
市町村道	1級	0.44	24.90	3.47	28.81	
	2級	0.53	11.22	1.44	13.19	
	その他	7.18	122.30	22.53	152.01	
合 計	30.1	184.4	27.4	241.92		

町道は庁内資料による。
国道・県道は図上計測による。
出典: 益城町提供資料

表1.4-3 下水道整備状況

種別	名称	都市計画決定年月日	区分	処理区域					下水管渠(幹線管渠)			
				計画決定 (ha)	事業認可 (ha)	整備済 (ha)	供用開始 (ha)	整備率 (%)	計画決定 (km)	事業認可 (km)	整備済 (km)	整備率 (%)
公共	公共下水道事業	昭和60年	汚水	612	612	522	522	85.2	16.15	16.15	14.55	90.1
			雨水	510	510	131	131	25.6	8.3	3.1	3.1	37.3
公共	特別環境保全公共下水道事業	平成18年	汚水	143	143	45	45	31.4	—	—	—	—
			雨水	—	—	—	—	—	—	—	—	—

出典: 益城町提供資料(庁内資料)

表1.4-4 上水道整備状況

年度	行政区域内人口 (人)	給水人口 (人)	普及率 (%)	日平均給水量 (m ³)	1人当たり日平均給水量 (ℓ)
平成17年	33,081	31,109	94.0	8,019	258
平成18年	33,116	31,274	94.4	7,977	255
平成19年	33,165	31,616	95.3	8,056	255
平成20年	33,180	31,756	95.7	8,010	252
平成21年	33,287	31,934	95.9	8,001	251
平成22年	33,459	32,069	95.8	7,906	247

出典: 益城町提供資料(庁内資料)

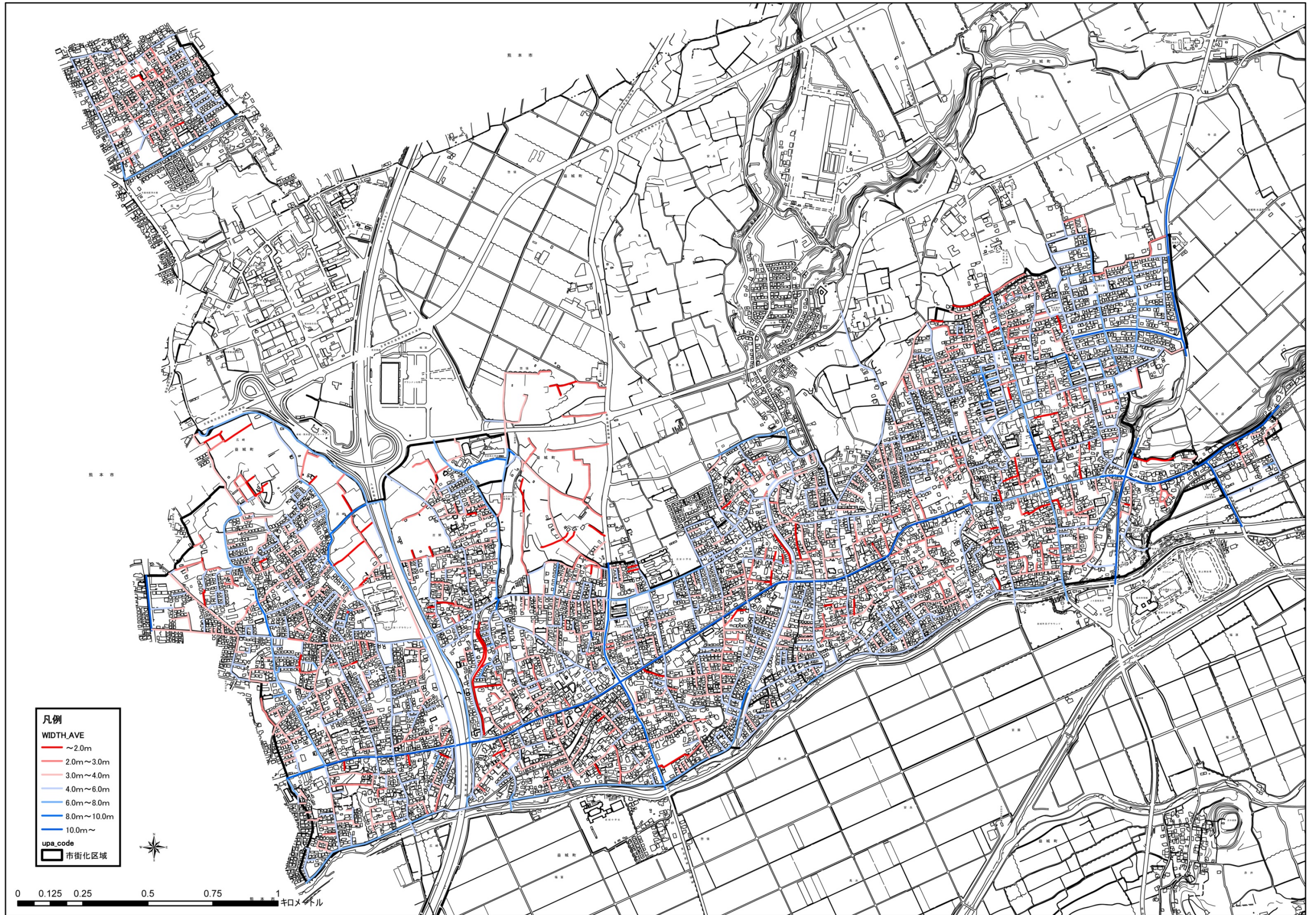


図1.4-2 道路幅員現況図(市街化区域)

1.5 上位・関連計画

(1) 熊本都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（平成27年5月改定）

1) 計画の概要

熊本都市計画区域（熊本市の行政区域の一部、合志市、菊陽町、嘉島町及び益城町の行政区域の全域）における長期的な視点から都市の将来像を示すとともに、広域的な視点から、都市計画の目標、区域区分、主要な都市計画決定の基本的な方針を定めたもの。目標年次は平成42年ごろとされている。

2) 都市づくりの基本理念

●まちづくりの基本理念：「豊かな自然と歴史を活し、活力あるエコ・コンパクトな都市づくり」

3) 地域ごとの市街地像

- 熊本空港 I.C.周辺地区は、公共交通結節点と生活サービス機能の充実を図る「地域核」、益城町役場周辺地区は、周辺住宅市街地の生活利便に供する「生活拠点」に位置づけられている。
- 阿蘇くまもと空港は、大規模災害発生時における緊急物資・人員等の輸送受け入れ拠点等として「広域防災拠点」に位置づけられている。
- 阿蘇くまもと空港周辺地区、熊本空港 I.C.周辺地区は、周辺土地利用との調和を図った上で、工業生産、流通業務を計画的に誘導する「工業流通拠点」に位置づけられている。
- テクノロジーパークは、熊本の歴史文化と自然環境を守り広域的な交流を育む「広域観光・レクリエーション拠点」に位置づけられている。
- 熊本環状道路から阿蘇くまもと空港及びくまもと港までを連絡する道路は、定時性を保つことができ、円滑なアクセス機能と物流機能が確保された「広域交通軸」に位置づけられている。



図 1.5-1 土地利用方針図（熊本都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針）

(2) 第5次益城町総合計画～ましきE(良い)I(愛)ぷらん～ 後期基本計画（平成28年3月策定）

1) 計画の概要

益城町が抱える課題を解決する方策を導き、長期的なまちづくり示す指針であり、町政の最上位計画として、部門別の各種計画の基本となるもの。目標年次は平成32年度とされている。

2) まちづくりの目標・基本方針

- ①まちづくりの基本理念：「誇り」「しあわせ」「愛」のあふれるまちづくり
- ②ま ち の 将 来 像：水とみどり豊かで人安らぐ「夢・創造」のまち

<まちづくりの基本方針>

- 方針1：子どもから高齢者まで、住民みんなが安心して暮らせるやさしいまち
- 方針2：すべての産業が連携した新たな産業の振興と魅力ある地域創造のまち
- 方針3：まちの活性化を進める地域づくり、人づくり、いきがづくりのまち
- 方針4：健全な行財政に支えられたまち

3) 土地利用方針・分野別施策



<分野別施策>

- 生活に密着した安全で人に優しい道路整備の推進
- 公共施設の安全対策の推進
- 地域福祉の充実及び地域コミュニティの形成
- 地域再生道路沿道、第二空港線沿道の秩序ある開発
- 主要地方道路熊本高森線の改善等に向けた都市計画道路（広崎木山線）等の検討

図 1.5-2 土地利用方針図（総合計画）

(3) 益城町都市計画マスタープラン（平成21年3月策定）

1) 計画の概要

益城町の将来の姿としてまちづくりの具体的な目標を示し、都市計画にかかる行政運営の基本方針とするともに、民間活力統合の指針にもなるべきもの。目標年次は平成30年とされている。

2) まちづくりの目標

まちづくりの基本理念：**調和と交流による人づくり、まちづくり**

＜まちづくりの大綱＞

- ① 快適さを真に実感できる生活環境の整ったまちづくり（住環境の整備）
- ② 町民みんなが安心して暮らせるまちづくり（健康・福祉・医療対策）
- ③ 農林業、商工業の各分野で将来への期待育むまちづくり（産業振興）
- ④ 明日を担う「人」を育て、地域文化を育むまちづくり（教育、文化の振興）
- ⑤ 町民みんなが誇りを持って暮らせるまちづくり（住民参画、男女共同参画）
- ⑥ 交通拠点を生かした機能的なまちづくり（都市基盤の整備）
- ⑦ 新しい行政運営の仕組みづくり（行財政運営の変革）

3) 土地利用方針・地域別構想

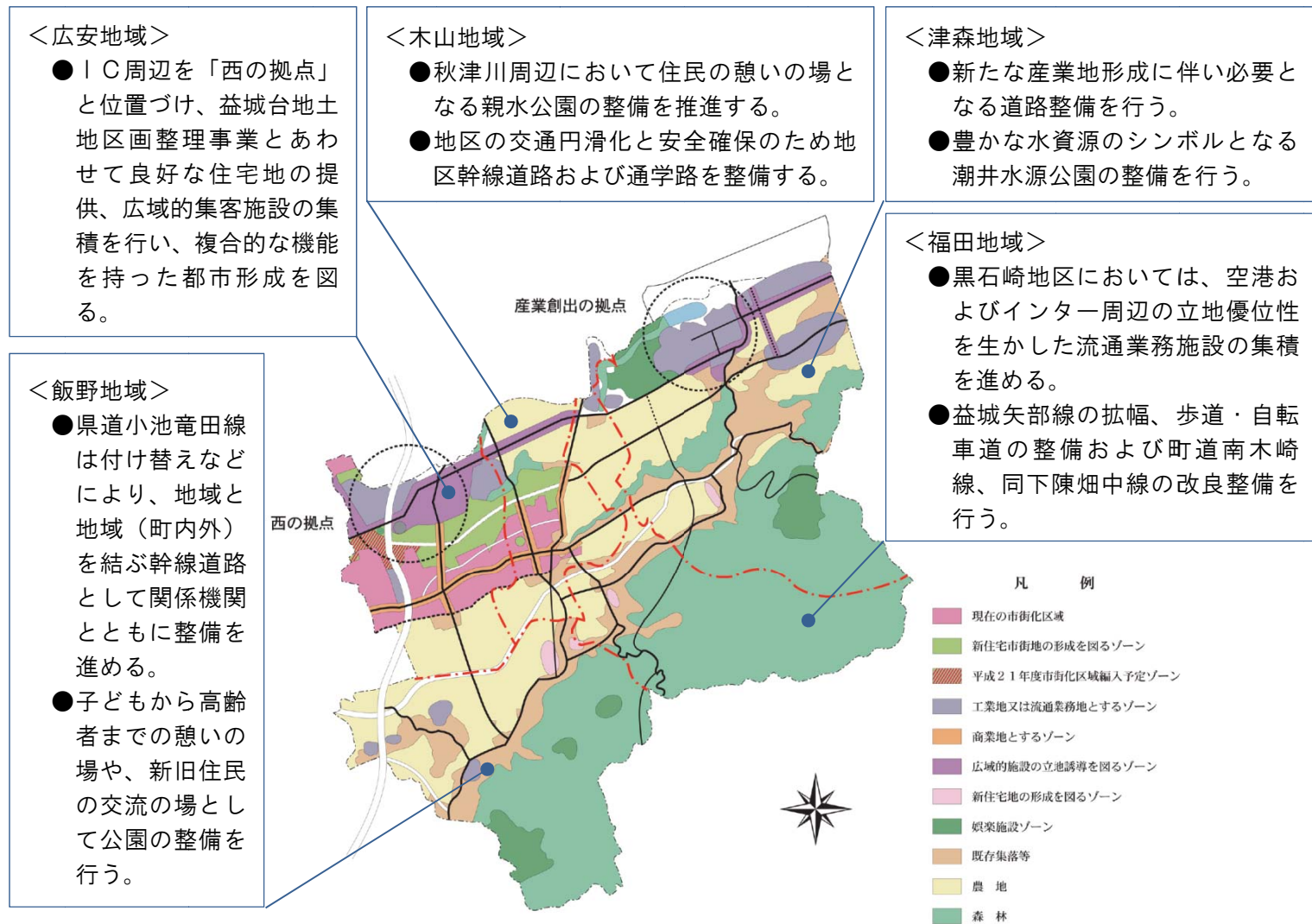


図1.5-3 土地利用方針図（都市計画マスタープラン）

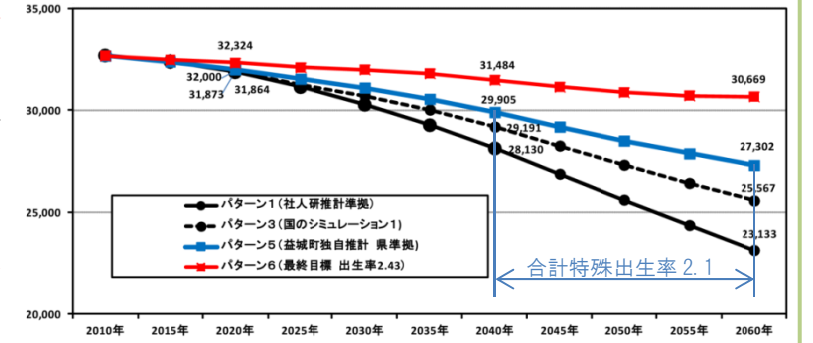
(4) 益城町まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年12月策定）

1) 計画の概要

「雇用」や「定住促進」、「結婚・出産・子育て」、「安全・安心の快適な暮らし」の分野に特化し、益城町の実情や特性を考慮し独自性を活かした「地方創生」のための計画。策定から5ヵ年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策が示されている。

2) 益城町人口ビジョン（平成27年11月策定）を踏まえた目標

- ① 2020年（平成32年）をめどに**人口の社会減を解消**することを目指す
- ② 人口の自然減を抑制するため、2040年（平成52年）までに**合計特殊出生率を2.1**まで**上昇**させることを基本目標とし、理想的な将来人口を実現させるために、**最終的には2.43**まで**上昇**させることを目指す



3) 政策目標

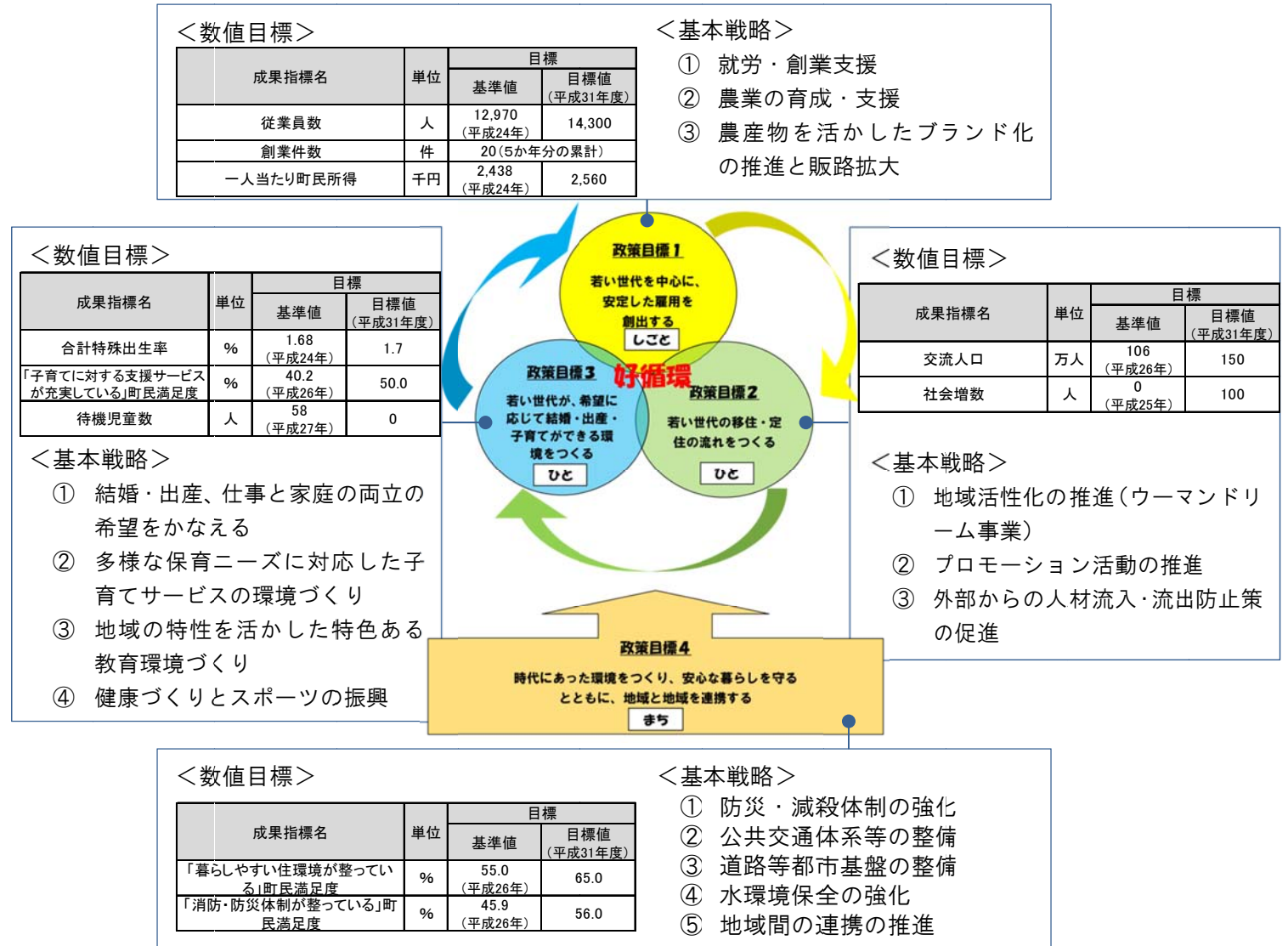


図1.5-4 総合戦略の全体イメージ（まち・ひと・しごと創生総合戦略）

2. 平成28年熊本地震による被害状況

2.1 地震の概要

(1) 名称・メカニズム

名称：平成28年(2016年)熊本地震
メカニズム：右横ずれ断層型の内陸地殻内地震

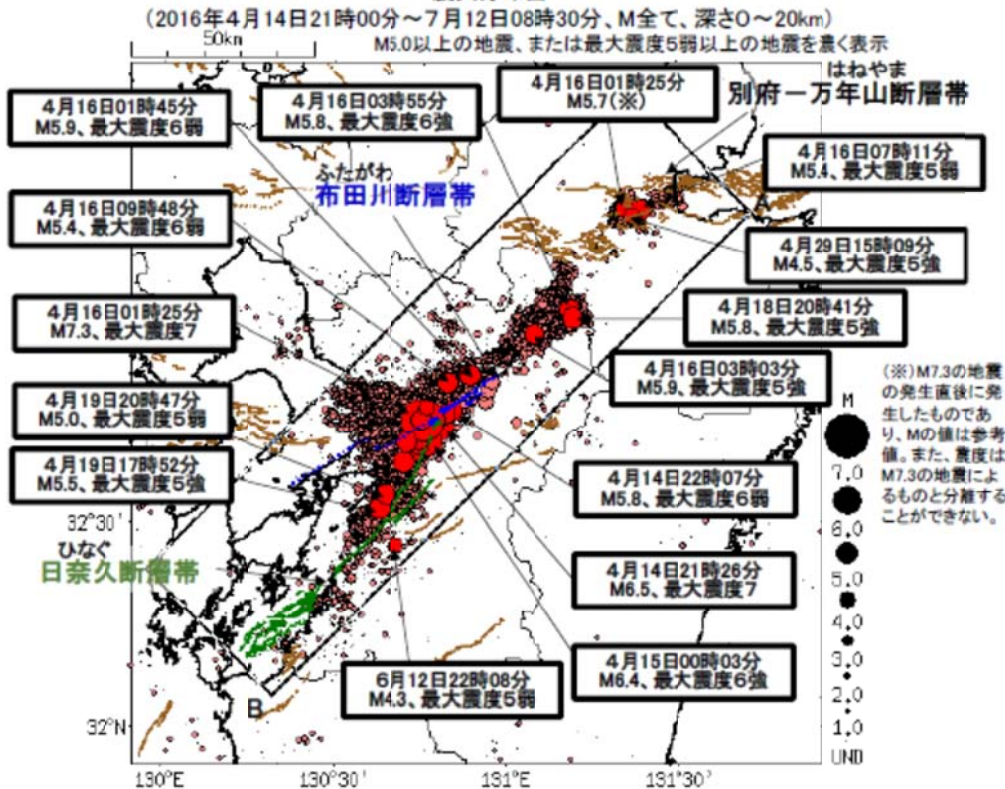
(2) 観測した地震(震度6弱以上)

発生日時	時刻	震央地名	マグニチュード	最大深度
4月14日	21時26分	熊本県熊本地方	6.5	7
4月14日	22時07分	熊本県熊本地方	5.8	6弱
4月15日	00時03分	熊本県熊本地方	6.4	6強
4月16日	01時25分	熊本県熊本地方	7.3	7
4月16日	01時45分	熊本県熊本地方	5.9	6弱
4月16日	03時55分	熊本県阿蘇地方	5.8	6強
4月16日	09時48分	熊本県熊本地方	5.4	6弱

(7月12日10時現在)

出典：報道発表資料 平成28年7月12日10時30分 気象庁

「平成28年(2016年)熊本地震」
熊本県から大分県にかけての地震活動の状況(7月12日08時30分現在)
震央分布図



出典：報道発表資料 平成28年7月12日10時30分 気象庁

図2.1-1 震央分布図

(3) 最大震度別地震回数

平成28年(2016年)熊本地震(以下、熊本地震)では、4月14日の地震発生後、7月12日10時まで
に震度1以上を合計1879回観測した。以下に最大震度別地震回数の一覧表およびグラフを示す。

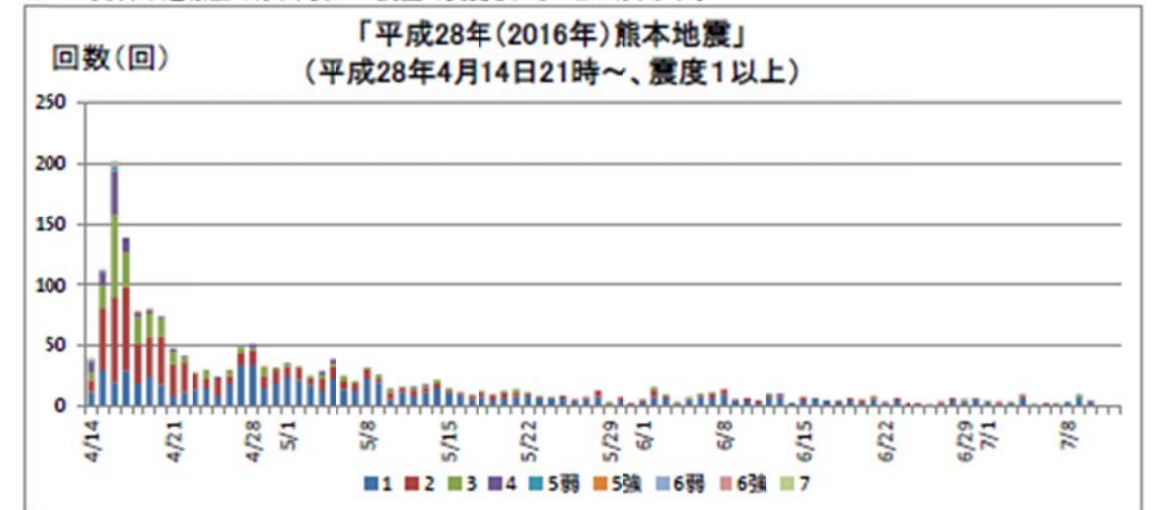
「平成28年(2016年)熊本地震」(平成28年4月14日21時～)

熊本県熊本地方、熊本県阿蘇地方、大分県西部、大分県中部の震度1以上の最大震度別地震回数表

時間帯	最大震度別回数									震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
4/14-4/30	332	443	220	80	7	4	3	2	2	1093	1093	
5/1-5/31	338	131	43	8	0	0	0	0	0	520	1613	
6/1-6/30	143	52	14	4	1	0	0	0	0	214	1827	
7/1 00時-24時	4	0	1	0	0	0	0	0	0	5	1832	
7/2 00時-24時	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	1836	
7/3 00時-24時	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4	1840	
7/4 00時-24時	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10	1850	
7/5 00時-24時	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1852	
7/6 00時-24時	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1855	
7/7 00時-24時	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	1858	
7/8 00時-24時	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1862	
7/9 00時-24時	8	0	1	1	0	0	0	0	0	10	1872	
7/10 00時-24時	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	1877	
7/11 00時-24時	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1878	

時間帯	最大震度別回数									震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
7/12 00時-01時	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1879	
01時-02時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1879	
02時-03時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1879	
03時-04時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1879	
04時-05時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1879	
05時-06時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1879	
06時-07時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1879	
07時-08時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1879	
08時-09時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1879	
09時-10時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1879	
総計	851	633	283	93	8	4	3	2	2	1879		

※4月16日02時までは熊本県熊本地方で発生した地震の回数であり、02時以降は領域を広げてカウントしています。
※この資料は速報値であり、後日の調査で変更されることがあります。



出典：報道発表資料 平成28年7月12日10時30分 気象庁

図2.1-2 最大震度別地震回数

2.2 被害の状況

(1) 人的被害

自治体		熊本県全体		比率
被害分類			うち、益城町	
死者	人	76	21	27.6%
行方不明者	人	1	0	0.0%
重傷者	人	592	101	17.1%
軽傷者	人	1,393	43	3.3%
分類未確定	人	140	0	0.0%

出典：熊本県災害対策本部 平成28年7月31日13時30分 現在

(2) 住家被害

1) 熊本県全体に占める益城町の被害状況

自治体		熊本県全体		比率
被害分類			うち、益城町	
全壊	棟	8,534	2,692	31.5%
	世帯	1,290	データなし	—
	人	244	データなし	—
半壊	棟	27,553	2,826	10.3%
	世帯	2,139	データなし	—
	人	1,318	データなし	—
一部破損	棟	125,444	4,642	3.7%
	世帯	5,566	データなし	—
	人	6,354	データなし	—

出典：熊本県災害対策本部 平成28年7月31日13時30分 現在

2) 益城町の被害状況の内訳

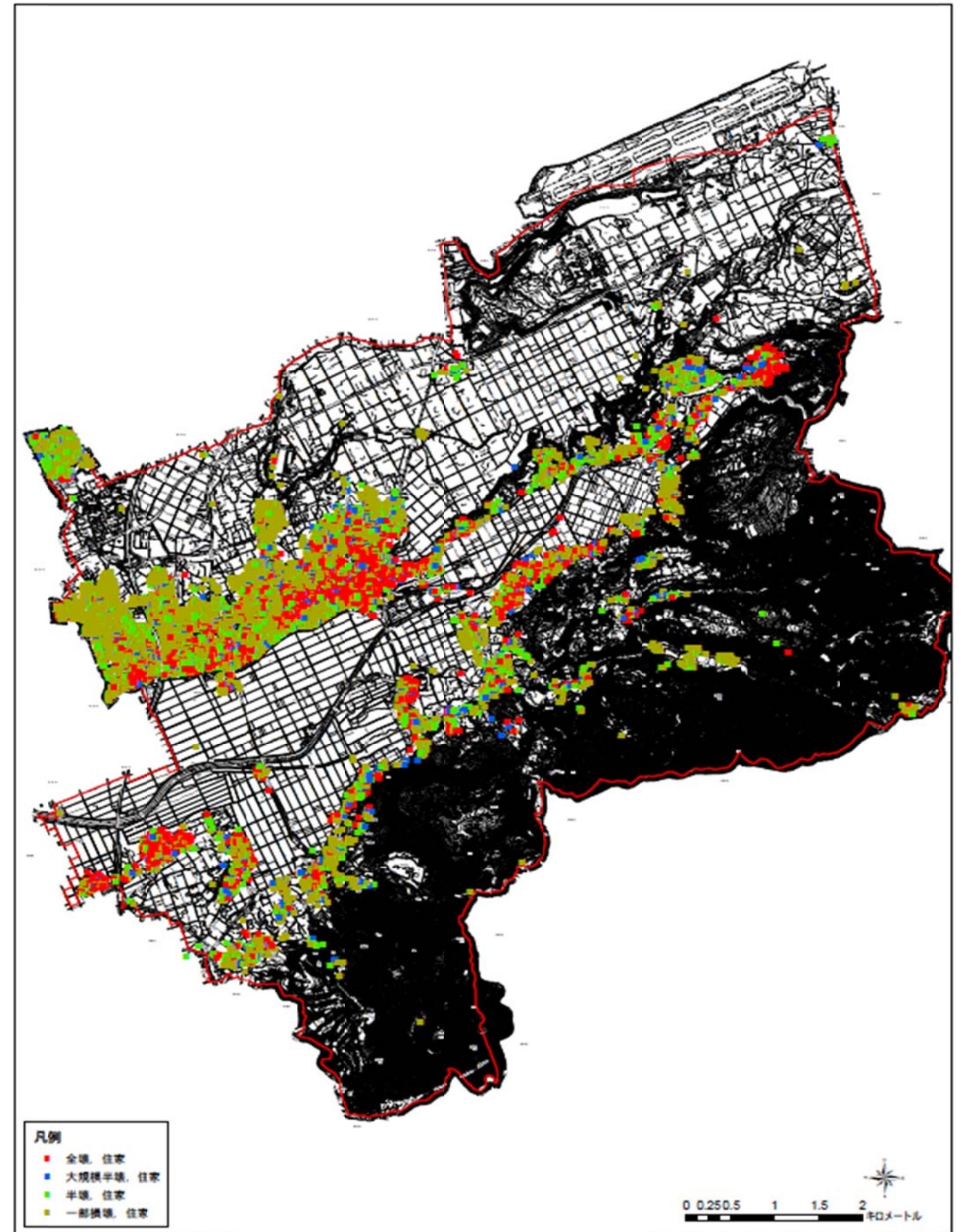
全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	無被害	総計
2,692	763	2,063	4,642	157	10,317

出典：益城町災害対策本部 平成28年7月28日 現在

(3) 住家被害に伴う罹災証明書の交付申請受付件数等の状況（益城町のみ）

市町村名	交付申請受付件数 (A)	罹災証明書交付件数【(B) = ①+②+③+④】					無被害の件数 (C)	二次調査	
		総数 (B)	罹災区分別内訳					依頼件数 (D)	実施件数 (E)
			全壊 ①	大規模半壊 ②	半壊 ③	一部破損 ④			
益城町	11,632	10,542	3,134	874	2,144	4,390	8	3,574	3,038
		(%)	29.7	8.3	20.3	41.7			

出典：熊本県災害対策本部 平成28年7月31日13時30分 現在



出典：益城町の罹災証明交付状況を基に事務局で図化

図2.2-1 益城町家屋被災状況図